

菅原直樹(「老いと演劇」OiBokkeShi主宰)による

「老いと演劇」 対話のワークショップ発表公演

ワークショップ参加者が自身の体験を元に、
「**老い**」や「**介護**」にまつわる物語を上演します。



「認知症の親に優しくなれない」
「できないことが増えて毎日が楽しくない」
「遠方で一人暮らしをしている親の生活が不安」

3.19(日) ^{開場} 13:00 ^{開演} 13:30
マルホンまきあーとテラス小ホール

入場無料

要整理券

配布場所 マルホンまきあーとテラス

※上演終了後、演出・菅原直樹と出演者、希望するお客様で
老いや介護について語り合う「おはなし会」を行います。

菅原直樹プロフィール

1983年生まれ。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeshi主宰。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に俳優として出演する傍ら、2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。2014年「老いと演劇」OiBokkeshiを岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。国立劇場、国際共同制作など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数。平成30年(第69回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)受賞。

老いと演劇